



# ☆ 受賞作品一覧

## 《北の宝物賞》

両親と石狩灯台へ。ハマナスを気に入る「何て名前や？」と繰り返し尋ねる認知症の父。映画『喜びも悲しみも幾歳月』のロケ地だと伝えると主題歌を朗々と歌い始めてビックリ。さっき聞いた花の名は忘れても何十年も前に観た映画の主題歌を…。  
切なく、愛しい。



秋になると多くのサケが遡上する千歳川。その千歳川の川底を観察することができるのが千歳水族館です。自然の川を観察できるのは日本でここだけだそうで、行くたびに違った様子を見ることができるのが楽しみです。私が千歳に移住したいと思ったきっかけのひとつの場所。今は息子と一緒に月に何度も通っています。

夏。お盆になると聴こえてくる、「ちゃちゃんこちゃん」と「は〜どうしたどした?」。地元の和太鼓仲間と年に1回だけ会える日。「今年も元気に会えてよかった。また来年も会おうな!」。おっちゃんの一言に涙腺を刺激された、コロナ前の夏。また会いたいな。





# ☆ 受賞作品一覧

## 《サッポロクラシック賞》

春に向けて。

まだまだ冬のようにありながら、実は春の風景です。

融雪剤の散布が始まって、畑の白い雪原に黒い縞模様が描かれています。農村地帯の春の風物誌ですね。

2022.3.9 北海道倶知安町



北海道の幌延町、問寒別駅より5月頃ようやく暖かくなり緑が色づく中、キハ54の宗谷本線普通列車が音を立てて、やってきました。本数が少ない北海道のローカル線が定刻通り来ると安心感をとても感じてそれがいつも北海道旅の醍醐味です。

北海道と言えば、雪上バーベキュー！

特に雪かき後の、クラシックビールと北海道産の豚バラ肉やジンギスカンの炭火焼は、「最幸!!」の一言です。

雪かきの疲れも寒さも吹っ飛びます。



# ☆受賞作品一覧

## 《Autumn&Winter 白い恋人賞》



記録的な大雪が降った日。背もたれ付きのイスとテーブルを雪で作って、雪の中でビールをキンキンに冷やしながらいただくジンギスカンと炭の焼き牡蠣は格別！  
！北海道の季節感、食材全てを満喫です。



### くじら汁

北海道の主に道南ではよく食べられているものです。  
私の実家は函館ですが、核家族だったからか、あまりご縁はなく🍷  
(私の母は、実家の森町で食べていたそうです)

今、我が家は、お正月や色々なときに上ノ国などからいただきます。  
(鍋に大量に作り、お裾分けするよう)

材料は、年末に近所のスーパーに売っています。(全部近くに陳列されています笑)

塩クジラ、山菜類、豆腐、こんにゃく等. . .

私がいただくものは、主に醤油ベース？のものですが、地域や家庭によっては塩のものもあるとか！



北海道といえば、やはりパウダースノーではないでしょうか！！

北海道の雪質は世界的にも素晴らしいものだそうです。  
雪が降ると、子供たちは大喜びで、雪遊びをします。  
北海道の雪が大好きです！



# ☆受賞作品一覧

## 《Spring&Summer 札幌農学校賞》

北大と商大の応援団対面式は、札幌と小樽で交互に行われる。大正時代からの伝統ある儀式で、一時商大の団員不足から中断したが、平成25年に復活。商大は2度も女性団長を輩出。羽織袴姿は両校の伝統だ。北大のそれは原形をとどめていない(笑)。



春から夏にかけての風物詩。  
清里町のさくらの滝では、次から次へと懸命にジャンプするサクラマスが見られます。  
上流を目指す姿に感動、ついつい時間を忘れて応援してしまいます。

時々やってくる鹿ファミリー。どちらの家にもどちらがオジャマしてるのか、悩むところです。この日はどちらも譲らず、10分ほどお見合い状態でした(^-^;)

